

経済倶楽部便り

◆東京◆ 9月から年後半の講演会がスタートしました。そこで今年前半（1月～7月）の講演会のオンライン視聴端末数ランキング（敬称略）でベストテンをお知らせします。1位柯隆、2位佐藤千矢子、3位唐鎌大輔、4位横山隼也、5位尾身茂、6位小幡績、7位藤原帰一、8位河野龍太郎、9位ケネス・盛・マッケルウェイ、10位下斗米伸夫でした。国際問題に対する関心が高く、とりわけメディアで登場頻度の多い講師が上位に顔をだしていました。2位の佐藤千矢子氏は毎日新聞論説委員で新聞業界最初の女性政治部長。「オッサンの壁」という新書

がベストセラーになりました。また、4位の横山隼也氏は『週刊東洋経済』記者ですが、自動車業界担当として世界のEVに関する開発と販売競争の現状に熱弁を振るって頂きました。5位の尾身茂氏は新型コロナ感染症対策で有名ですが、雑談の折、子供の頃から今も剣道を継続しているとのこと、お話する姿勢の良さはそのためかとも感じました。後半も今聞いておくべき講師の方をお呼びしたいと考えています。

11月の講師は一橋大学大学院社会学研究科教授の福富満久氏、キャノングローバル戦略研究所研究主幹の山下一仁氏、JSR前会長の小柴満信氏、元在日米商工会議所会長のグレン・S・フクシマ氏、ブーケ・ド・フルーレット代表の馬淵治好氏を予定しています。（日暮良一）